

授業概要

本講義では、心理学研究で用いられる統計の基礎的知識を紹介する。具体的には、分散分析、回帰分析、因子分析の一部を教授するとともに、統計ソフトの基本的な操作方法についても説明する。得られたデータをどのように数値化するか、どのような分析を用いるか、基本的な理解を踏まえて講義する。一部内容に実習を含むため、一部内容に実習を含むことから、履修に際しては下記注意事項を必ず確認すること。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	心理統計の基礎 1 尺度水準・代表値と散布度
第 3 回	心理統計の基礎 2 相関係数
第 4 回	心理統計の基礎 3 カイ二乗検定
第 5 回	対応のない場合の t 検定
第 6 回	対応のある場合の t 検定
第 7 回	一要因分散分析
第 8 回	二要因分散分析
第 9 回	分散分析と図表の作成・まとめ方
第 10 回	中間試験の実施
第 11 回	回帰分析
第 12 回	重回帰分析
第 13 回	重回帰分析の結果のまとめ方
第 14 回	因子分析
第 15 回	因子分析の結果の読み取り
第 16 回	期末試験の実施

到達目標

- ・心理学研究における基本的な統計手法について理解できる。
- ・解析ソフトにより基本的な分析を行い、結果をまとめることができる。

履修上の注意

- ・「心理学概論」「心理学研究法」「心理学統計法Ⅰ」を受講済みであり、その内容を十分理解していること。
- ・ワープロソフト (Word) と表計算ソフト (Excel) について、基本的な使い方をマスターしていること。
- ・学生の理解度に合わせて、進行を調整する場合もある。

予習・復習

- ・予習として「心理学統計法Ⅰ」を理解しておくこと。
- ・復習として毎回の資料と課題を振り返ること。

評価方法

試験の結果 70%、毎回の授業課題 30%を総合した上で評価を行う。
出席回数が 3 分の 2 を満たない者の単位認定は行いません。

テキスト

- ・テキストは指定しないが、下記書籍を中心に、適宜参考書を紹介する。
吉田寿夫「本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本」北大路書房